

森六グループ 気候変動リスク・機会に関する分析(2022年11月時点)



【時間軸】 中期:4~10年(2030年) 長期:11~25年(2050年)

大分類	リスク項目		事業インパクト		財務インパクト			
	中分類	小分類	時間軸	リスク	機会	評価:リスク	評価:機会	
移行リスク (1.5~2℃シナリオに基づいて分析)	政策・規制	炭素価格(炭素税)排出権取引	中期~長期	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●炭素税の導入された場合の税負担コストの発生 ●排出権取引のエリアが拡大された場合の対応コストの発生 	-	大	-	
		プラスチック規制	中期~長期	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●リサイクル規制による特定の材料の使用禁止、また管理対象化 【森六テクノロジー】 ●自動車等でのプラスチック使用が規制された場合のプラスチック製品の需要減少に伴う収益減少 ●石油由来プラスチックからバイオマスプラスチック等代替材料への切替に伴うコスト増加 【森六ケミカルズ】 ●プラスチック使用が規制された場合の樹脂関連商品の販売減少による収益減少 	<ul style="list-style-type: none"> 【森六テクノロジー】 ●プラスチック代替素材の技術開発による新規部品開発等による競争力の向上 ●工場内でのリサイクルによる製造過程の効率化 【森六ケミカルズ】 ●バイオマスプラスチックなどの新規材料の拡販による売上増加 ●リサイクルビジネス機会の拡大 ●ケミカルソリューションの提供によるバリューチェーンでの収益増加 	大	大	
		低炭素技術の進展	中期~長期	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●既存の製品・サービスが低炭素製品に置き換わることによる、既存の製品・サービスの需要低下 ●低炭素排出製品・サービスなどへの転換のための技術開発や新技術の利用、先行設備投資によるコスト増加 	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●森六テクノロジー・森六ケミカルズの協業により、バイオマスプラスチック材料の開発を行うことでの環境配慮製品・材料の需要増・収益増加 【森六テクノロジー】 ●低炭素製品の開発・展開により低炭素製品への需要が増加することでの収益増加 ●EV技術の進展・本普及に伴うビジネス機会の拡大と収益増加 ●CO₂低排出設備の開発を行うことでの生産プロセスや生産の使用エネルギー効率の向上と操業コストの削減 【森六ケミカルズ】 ●環境配慮型の材料開発による需要・収益増加 ●環境対応型材料の開発に向けた取り組みによる、販売機会の増加 	大	大	
	市場	エネルギーコストの変化	中期~長期	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●低炭素排出エネルギー利用へのシフトやエネルギー効率向上策を促進する政策強化要請遵守のための操業コストの増加 ●既存の製品・サービスが、エネルギー効率の高いまたは低炭素排出エネルギーを使用する製品・サービスに置き換わることによる、既存の製品・サービスの需要減少 ●低炭素化技術開発・設備導入による製造コストの増加 ●再生可能エネルギーの普及に伴う、電力価格の上昇によるコスト増加 	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●効率的な生産プロセス・流通プロセスや効率的な輸送手段の利用による、操業コスト削減 ●低炭素排出エネルギーやエネルギー効率が高い製品・サービスの開発・展開による、需要増・収益増加 	大	大	
		原材料コストの変化	中期~長期	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●樹脂や鉱物価格の上昇による、材料仕入れコストの増加 ●代替材料切り替えでの原材料価格の上昇によるコスト増加 ●自然災害により、原材料の供給網が遮断することでの原材料費高騰によるコスト増加 	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●原材料使用量の削減や工程内リサイクル、より安価で豊富な代替材料の検討による、原材料コストの削減 	大	大	
		製品とサービス	中期~長期	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●資源循環型原料開発への取り組みの遅れによる機会損失 	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●LCA(ライフサイクルアセスメント)での環境負荷削減への取り組み 【森六ケミカルズ】 ●資源循環型原料(低炭素、生分解性やバイオマスプラスチック材料など)の開発による収益増加 ●気温上昇による消費者ニーズの変化に対応する原料・商品の取り扱いによる収益増加(保冷剤、化粧品など) ●ヘルスケアや農業・食料、インフラなどの分野での、健康維持・疾病予防、レジリエンス強化など顧客の気候変動への適応ニーズに対応する新たな製品・サービスの供給による収益増加 【森六テクノロジー】 ●自動車部品を含む幅広いプラスチック製品開発による収益増加 	中	大	
	評判	外部ステークホルダーの評判変化	中期~長期	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●環境への配慮が不十分と評価された場合の、顧客の取引制限による収益減少 ●環境関連の情報開示不足による評判低下 ●環境への配慮が不十分と判断された場合の調達資金の減少、資金調達コストの増加 	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●環境への対応や十分な情報開示を行うことでの信頼性の向上・収益増加 ●自社やサプライチェーンの気候変動対応に取り組むことによる、事業継続力の強化とサプライチェーンでの信頼性向上と市場価値の向上 【森六テクノロジー】 ●環境対応型製品の開発による需要増への評判が上がることによる企業価値向上 【森六ケミカルズ】 ●環境関連ビジネスに対する評価が上がることによる企業価値向上 	大	大	
	物理リスク (4℃シナリオに基づいて分析)	急性	異常気象の激甚化(台風、豪雨、土砂等)	中期~長期	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●異常気象の増加に伴う、被災による修繕費用の増加 ●異常気象による、突発的な製造停止やサプライチェーンの断絶による、製造機能や生産量の低下・売上減少 ●異常気象に伴う原材料供給網の遮断による代替品供給難航や原材料のコスト増加 ●異常気象による施設・設備の被災リスク、原材料・燃料等の調達リスク、製品の供給リスクが生じることでの対応コスト増加 【森六テクノロジー】 ●異常気象により、調達先であるサプライヤーが被災することでの材料調達への問題発生 【森六ケミカルズ】 ●異常気象の増加に伴う、仕入や販売網の混乱 	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●グローバル複数拠点での生産による供給対応力の強みを生かした、調達リスク回避と優位性確保 ●災害発生時(洪水や熱波)に活用できるモビリティ領域への参画による収益増加 	大	大
		慢性	平均気温の上昇	中期~長期	<ul style="list-style-type: none"> 【グループ共通】 ●事業所での冷房使用が増加することでのコスト増加 ●気温上昇に伴う従業員の体調管理に係る時間の増加や生産性の低下 	-	小	-